

＜バイオ医薬・リサーチ・レポート＞

情報提供用資料

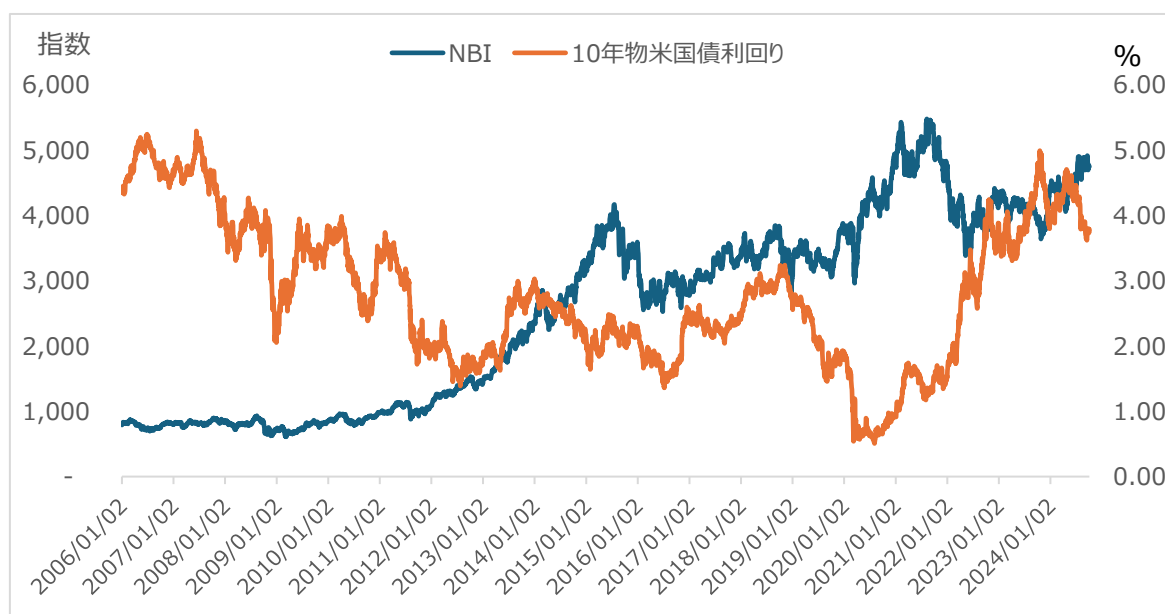
2024 年 10 月 7 日

米国の利下げ環境はバイオ医薬株にポジティブであろう

現在の米国連邦準備制度理事会(FRB)による金利引き下げ環境を考慮すると、バイオ医薬セクターの今後 6～12 か月の見通しはポジティブだとセクトラルアセットマネジメント(以下、セクトラル)では捉えている。モルガン・スタンレーのヘルスケアアナリストと株式ストラテジストは、バイオ医薬株のパフォーマンスが FRB による利下げからの恩恵を受ける可能性が高いこと(特に高金利からの金利低下局面では)を裏付けるリサーチノートを発表していた。

FRB による利下げがバイオ医薬に恩恵を与えるとの期待は、主にバリュエーションへのプラスの影響を通じてもたらされる。というのは、バイオ医薬業界、特に中小型銘柄群は主に開発段階、すなわち収益実現化前の企業で構成されており、長期での将来キャッシュフローの現在価値計算において割引率の影響を大きく受けるためである。バイオ医薬株と金利の逆相関は、ナスダックバイオテクノロジー指数と米国 10 年債利回りの下記グラフに見受けられる。

ナスダック バイオテクノロジー指数(NBI)と 10 年物米国債利回り：2006 年～2024 年 10 月 2 日



出所：ブルームバーグのデータを元にキャピタル アセットマネジメントが作成

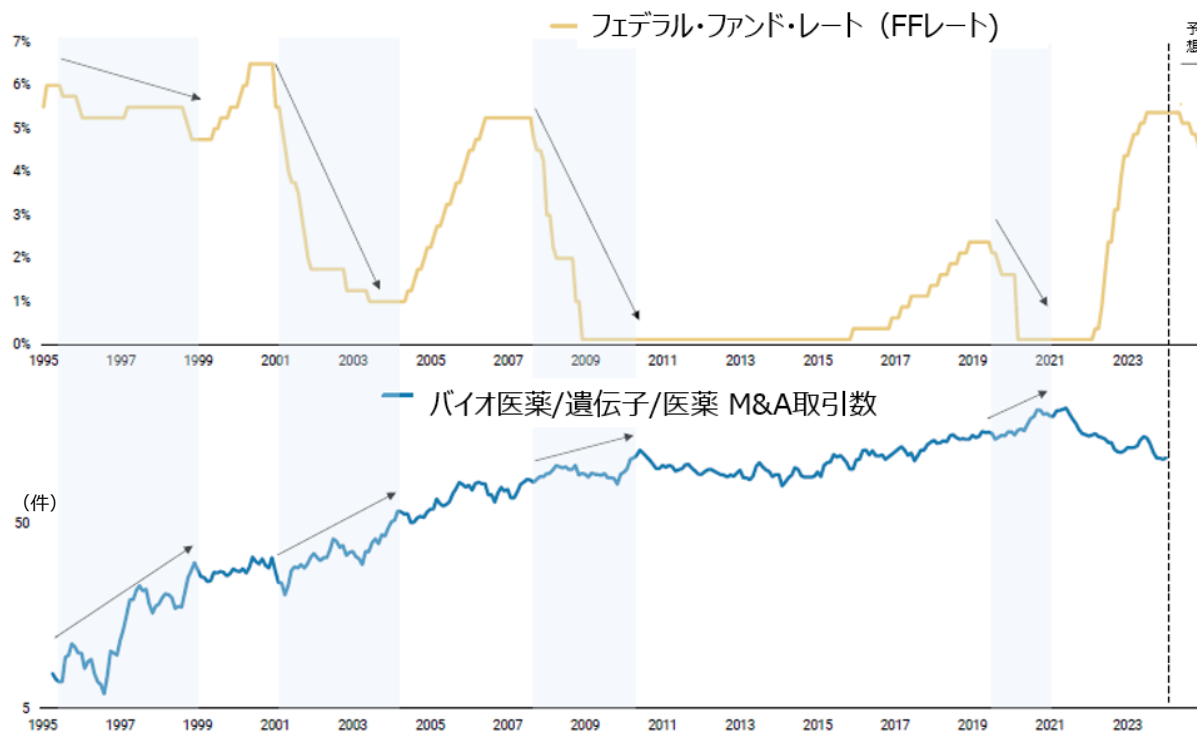
M&A(合併・買収)活動はバイオ医薬セクター株価の重要な推進力の 1 つであり、セクトラル提供資料では、過去の金利低下サイクル中に M&A 取引数が上昇していた(次頁)。実際に M&A 取引数が増加する兆候が表れる前段階であっても、M&A への期待が高まるのがバイオ医薬株のパフォーマンス向上につながる可能性が考えられる。

当資料は、世界バイオ医薬株式ファンドのアドバイザーであるセクトラルアセットマネジメントが提供した資料に基づきキャピタル アセットマネジメントが翻訳作成したものです。都合により、省略または改変した部分があります。原資料にご興味がおありの際には、当社マーケティング本部 (marketing@capital-am.co.jp) までお問合せください。

免責事項

当資料は、情報提供を目的として、キャピタルアセットマネジメント株式会社 (CAM) が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

金利低下サイクル下に増加するライフサイエンス関連の M&A 取引数



出所：セクトラル提供資料（ディールロジック、ブルームバーグに基づく）

とはいいながらも、有利な金利環境だけではバイオ医薬企業が優れた業績をあげるには不十分であり、順調な臨床開発、革新的な新薬の米国食品医薬品局(FDA)からの承認、大規模な市場と機会の創出、新薬の強力な商業的上市など、ファンダメンタルズの推進要因が業績拡大にとって必要であることに注意しておきたい。

今後 6～12 か月間、バイオ医薬は魅力的な投資分野であるとセクトラルでは考えている。これは、1998 年以降の利下げ後、相対的に良好なバイオ医薬の株価パフォーマンスが観測されてきたためである。但し、利下げ直後の短期では、(直前に織り込み済みであったために)パフォーマンスの低下が観測されてきたことに留意する必要がある。

1998年以降における初回利下げ直後のバイオ医薬の相対パフォーマンス(対米国トップ1500社)

	利下げ前 6 か月	利下げ前 3 か月	利下げ後 1 か月	利下げ後 3 か月	利下げ後 6 か月	利下げ後 9 か月	利下げ後 1 2 か月
均等ウェイトでの 相対パフォーマンス	-0.7%	4.1%	-1.0%	2.6%	17.1%	20.7%	28.5%
時価総額加重ウェイト での相対パフォーマンス	-0.7%	5.3%	-1.3%	3.9%	17.4%	18.8%	26.7%

出所：セクトラル提供資料（MS Research、Factset）

最後に、バイオ医薬業界のファンダメンタルズは引き続き堅調であり、特に、規制当局の承認プロセスにある企業、新製品の発売を間近に控えている企業、さらに最近新薬を発売した企業や商業機会を拡大した企業にセクトラルでは注目している。大手製薬企業におけるブロックバスター医薬品(大型薬、一般的に年間売上高が 10 億米ドル以上の薬を指す)の独占権が失われることが見越される状況下、これらの企業は、買い手企業が業績を拡大させるために M&A を推進する際の候補先として注目される可能性が想定される。

以上

免責事項

当資料は、情報提供を目的として、キャピタルアセットマネジメント株式会社 (CAM) が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。